

意見一覧（順不同）

（参考）意見一覧

No.	意見集約項目					
	1. 国や県が示す適正規模等の方針を踏まえて、あなたは、学校の適正規模等に対して、どのようなお考えをお持ちか教えてください。	2. アンケート結果などを踏まえて、韮崎市における望ましい適正規模（特別支援学級を除く）について、ご意見を教えてください。				
		(1) 小学校：各学年 学級以上を基本とすることが望ましいという		(2) 中学校：各学年 学級以上を基本とすることが望ましいという		
		学級数	理由・ご意見等	学級数	理由・ご意見等	
1	国や県が適正規模等の方針を示しているので、それに沿って自治体が判断すればよいと考える。しかし、国や県の方針をそのまま受け入れて実行するのではなく、各自治体の実情に沿って、児童生徒、保護者、地域の方々と話し合いの上、それぞれの地域にあった学校の適正規模を考えていくことが重要であると考える。	2	6年間クラス替えがなく、ずっと同じメンバーで学校生活を送るということは、親密な関係が構築できる反面、人間関係がうまくいかなかったときに逃げ場がなく、苦しい小学校生活を送らなければならないというリスクがあると考えるため。クラス替えをして心機一転をしたり、新しい人間関係を構築したりするという経験は小学校生活においてある程度必要であると考え る。 各学年1学級となった場合にも、学級の児童数が少なくとも10人以上いることが、学校存続の1つの目安になるのではないかと考える。	2	基本的には、小学校生活と同様、クラス替えがなく同じメンバーで3年間過ごすことは、よい面もあるが、人間関係等でうまくいかなかったときにリスクがあると考えるので、それを回避できるようにするためにも複数のクラスがあることが望ましいと考える。	
2	基本的には国や県の考え方は妥当だと思います。しかし、韮崎市の場合、現状や今後の児童生徒数の推移を見ても分かるとおり、国や県の考え方に準拠するようにするためには、どうしても学校の統廃合を想定しなければなりません。しかも数年先には複式学級はもちろん甘利小、北東小以外の三校は学校のほとんどが単級になってしまうことが目に見えています。したがって、学校規模の適正化の方向についての結論を急ぐ必要があると思います。 学校には一定の規模が必要な一方で、統廃合の結果、極端に長距離の通学が求められることなども問題になると思います。 また、学校は地域のコミュニティの核として、防災・保育・地域の交流の場等の機能を併せ持っています。地域の実状により、学校統廃合が困難な場合や小規模校として存続させることが必要な場合もあり、考慮する必要もあると思います。	2	児童が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくには最低2学級は必要だと思います。 県の25人学級が6年生まで実施されると2学級でもその学年は26人から50人という少集団になる可能性があり、集団全体が縮小されていきます。きめ細かく行き届いた教育はできるとは思いますが、多様な考えや切磋琢磨する環境は集団が縮小されればされるほど不十分だと思うからです。	3	中学校についても、集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人ひとりの資質や能力を伸ばして行くことが大切です。しかし、複数の学校の小学生が入学して来るわけですから、2学級では小学校とあまり変わらない環境になると思います。最低3学級は必要かと感じます。	
3	個人差があるのでこれが最適解というものはないと思うが、一般的な社会に出るための準備と考えると、国や県が示すような基準を満たすのが望ましいと思う。	2	1でも回答したように、社会に出るための準備と考えた場合、クラス替えにより仲間と離れ、新たな仲間を作る経験は必要だと感じる。また、一つの組織として別の組織を意識して取り組むという経験も大事だと思う。他にも、子どもたちの相性を考えてクラス編成できる環境は、教育面、精神面を考えても必要だと思う。 アンケート結果からもクラス替えを望む子、親は多いように思う。 また、1学級（特に大人数の）は先生の負担も大きいのではないかと考える。	3	理由は小学校と同じだが、段階的に実社会の環境に近づけていった方がいいと思うから。	

No.										
3.	国の標準を下回る学級数の学校について、ご意見を教えてください。 なお、統合（統合先の学校名）や存続（存続の場合は充実策）、また、その理由									
	(1) 穂坂小学校					(2) 葦崎北西小学校				
	統合	統合先	存続	理由	その他のご意見等	統合	統合先	存続	理由	その他のご意見等
1	○	北東小		統合が妥やむを得ないのではないかと考える。統合先は一番近い<u>葦崎北東小学校</u>でしょうか。R14までの予想在籍児童数をみると、10人以下の学級が大半を占めることになる。上述のように学校存続は各学級に10人以上の児童がいることが望ましいと考えるので、穂坂小学校は客観的に見て存続が難しいと考える。やはり統合が必要であると考える。学習面や行事面で支障が出る	行政として通学用のバスの手配などが必要であるが、児童が学校生活に支障がないように配慮してあげたい。 また、小学校が地域の文化の中心となっていることが多い。穂坂地区もそうであると思う。よって、その文化の中心としての役割を他の施設が担えるような配慮が行政側で必要になると考える。			○	当面の間は、存続でよいと考える。R14まで各学年単学級ではあるが、各学級が10人以上の児童が在籍する予定であるので、学校としては様々な行事も成立するのではないかと考える。近隣の小学校と交流する機会等を多く持ち、多くの児童と交流する機会を持つことが大切である	学校統合の議論は、今回の委員会で終了ではなく、絶えず見直しをしていく必要がある。葦崎北西小学校の場合は、いつ各学級の在籍児童数が10人以下になるかわからないという状況であるので、そのような状況になったときに柔軟に統合の議論ができるように1年ごとに検討できるような体制を整備しておくことが必要である
2	○	葦小		今後の児童数の推移を見ると、<u>統合する事を検討するのが妥当</u>だと思います。統合するとしたら<u>葦崎小学校が妥当</u>かと思っています。穂坂小の学区からは通学距離や時間がスクールバスを使ったとして4km以内もしくは1時間以内で通学できるのではないかと。スクールバス通学が多い学校に勤務した経験上、低学年の子どもたちにも充分適応できる距離だと思います。	穂坂小学校は地域のコミュニティの核として、防災・保育・地域の交流の場等の機能を併せ持っています。まずは、地域の保護者や住民とのコンセンサスが大切だと思います。	○	北東小 or 甘利小		今後の児童数の推移を見ると、<u>統合する事を検討するのが妥当</u>だと思います。統合するとしたら距離や通学時間を考えると<u>葦崎北東小学校か甘利小学校が妥当</u>かと思っています。北西小学校はスクールバス通学がほとんどなのでバス通学には慣れていると思いますが、<u>円野から甘利小までの距離はとて</u>も遠いと思います。しかし、バス通学時間を考えると北東小へ行く方が通勤時間と重なり時間がかかるのかもしれませんが。その辺は検討の必要性がある	葦崎北西小学校は統合小学校であり、地域のコミュニティの核や防災・保育・地域の交流の場等の機能を併せ持っているとは必ずしもいえないと思いますが、やはり、統合する必要性を丁寧に説明し地域住民や保護者のコンセンサスを早めにとることが大切だと思います。
3	○	葦小		<u>葦崎小学校と統合</u> 児童生徒の推移をみる限り、穂坂小学校については、市全体から小規模クラス希望者等を募らない限り存続は難しいと考える（市の財政的に許されるのであればこれもあり）。葦崎小学校もここ数年で人数が大幅に減ることが想定されるので、<u>両校の位置的にも統合することが望ましい</u>と思う。	—	○	葦小 or 甘利小		<u>甘利小学校と統合 もしくは 葦崎小学校と統合</u> 北西小学校と甘利小学校が統合となると、<u>葦崎西中学校は小学校の延長になってしまうので、中学校で新たな人と出会うという機会は奪われてしまう。</u> 統合した場合、校舎は甘利小学校を使用することが現実的だと思うし、その場合、北西小学区の子の通学手段はスクールバスになると思うので、<u>それであれば次に小規模化が進むと想定される葦崎小学校と統合するのもあり</u>と考える。	2で複数クラスが良いと考える理由の中でも示したように、市内に複数の学校が存在することは、お互いを意識するという点や新しい仲間と出会うという点で大事なことだと思う。少子化、財政的課題もあるとは思いますが複数校体制は続けて欲しい。

No.		
		4. その他のご意見等
	(3) 左記 (1) (2) 以外の小中学校	
	ご意見等	
1	オンラインでつないで、校区の小・中学校が連携して児童生徒（教職員も含めて）の交流を行うような体制を整える必要があると考える。	これから先、急激な少子化が進行していくことが予想されるので、今は児童生徒の在籍数が多い小・中学校でも今後児童生徒数が激減することが予想できる。そのようになってから議論を始めるのでは遅いで、あらかじめ、児童生徒数減想定しての統合等についての検討を継続的に行っていく必要がある。
2	統合の方向で考えたとき、北西小学校が北東小学校か甘利小学校へ統合したときの児童数の推移や施設のキャパ、施設の老朽化等も踏まえる必要があると思います。 また、穂坂小学校が葦崎小学校に統合するとしたとき、葦崎小学校の児童数は30名から40名増えるだけなので、両校の児童にとってのメリット、デメリットも充分検討する必要があると思います。	令和14年までの今後7年間の児童の推移とみると、児童生徒の適正化に向けた具体的な取組を急がないと、あっという間に市内の学校が単級化したり複式学級が多発したりする状況になります。適正化の判断は市町村教委に委ねられていると聞きました。できるだけ早く統合か現状維持で行くかの結論を出す必要があると思います。そして、統合の方向で行くなら早く対象学区の住民や保護者に説明し、コンセンサスをとるべきではないかと感じます。 反対に、現状維持で行くなら、今後の児童数の推移を説明し少人数の学校でも他校と遜色のない教育を維持する対応策を提示するべきだと思います。中学校の場合は2校しかない現状ですのでもう少し様子を見ても良いのではないかと思います。
3	—	財政云々ではなく児童、生徒の教育環境のことを考えてと何度も念をおされているのでそこは理解していますが、実際のところ財政課題、人材不足等を考えても統合を進めるしかないのかなと思っています。

意見一覧（順不同）					
No. 意見集約項目					
1. 国や県が示す適正規模等の方針を踏まえて、あなたは、学校の適正規模等に対して、どのようなお考えをお持ちか教えてください。		2. アンケート結果などを踏まえて、韮崎市における望ましい適正規模（特別支援学級を除く）について、ご意見を教えてください。			
		(1) 小学校：各学年 学級以上を基本とすることが望ましいという		(2) 中学校：各学年 学級以上を基本とすることが望ましいという	
		学級数	理由・ご意見等	学級数	理由・ご意見等
4	国や県が示す方針は、理解できますし、教育環境を維持するには、一定規模の確保することは望まれると考えます。 その中で、「学校は地域コミュニティの核として、防災・保育・地域の交流の場等の機能を併せ持つ」との表記がありますが、小規模すぎると学校に関わる方々も減少し、地域コミュニティの核として機能は薄れていくと感じられます。	2	子供の頃から社会の多様性に触れること、切磋琢磨することは大切だと考えます。 少なすぎると多種の枠組み・グループ等が制限されて、希望する活動が体験できない環境になってしまうと考えます。	3	小規模すぎると、小学校以上に社会性の習得や多様な活動の選択肢が必要とされる年頃に、体験の制限がされることは望ましくないと考えます。 また、一定規模がないと、専門性の高い教職員の配置が困難な傾向になると考えます。
5	変化の厳しい時代、価値観の多様化の時代を生き抜いていく力や考え方を育てていくためには、一定の規模が必要と思われる。この方針どおりの学校を求めるなら、今後大規模な統合を考えなくてはならない。しかし、小規模であるがゆえに、一人一人に目を向けた学校経営がなされている学校も存在する。また、地域の皆さんの地域の学校に対する思い入れも無にできないと思われる。したがって、極端に学級人数が少ない場合以外、学校がおかれた現状を観ながら判断していきたい。	2	多くの人との集団の中で、未来を生き抜いていく力を育んでいくには単学級よりも複数学級の方が適していると思われる。	2	多くの人との集団の中で、未来を生き抜いていく力を育んでいくには単学級よりも複数学級の方が適していると思われる。
6	児童・生徒が心豊かに成長するために、学校が適正規模で設置されることは必要だと思うが、それは全てではない。 教師自身が教育の質を高めるために研鑽を積んだり、行政が基盤となる財政（財源）を確保したりしなければならないと思う。 学校は地域のコミュニティの核として大きな役割をもつことを考えると、小規模校でも存続できる方向を探りたい。	2	多様な考えに触れ、幅広い人間関係を築くためには必要な学級数か？（3.の設問の答えとは反するが）	2	思春期の中学生にとってクラス替えによる環境を変えることができる学級数は必要だと思う。
7	学校小規模化の影響の例にあるようなマイナスの影響の方が多いように感じます。ある程度の学級数が確保できる状況が望ましいと思います。	3	少子化の中で2学級が限度かもしれないが、3学級だとより多くの組み合わせ（出会い）の可能性が出てくる。	3	より多くの学級が望ましいが、これからの人員数が限られるため3学級。
8	国や県の適正規模に関する考え方には賛同できる。小規模化した場合の課題についてもその通りであると考えます。 また、適正規模（12～18学級）下回る場合の目安についても複式学級が存在する規模は、学校統合もしくは学区変更により速やかに適正規模に近づけるようにした方がよいと考えます。	1 ※	各学年1学級以上（複式にならない）が望ましいと考えます。アンケート結果から、小規模校の児童は小規模校の良さを感じてそれを希望する声が多く、大規模校の児童は大規模校を希望する声が多いから。	3	各学年3学級以上を基本とすることが望ましいと考えます。小規模校出身者が大規模に不安を持って入学するが、多くの生徒がそれに慣れ多くの人と関わることに前向きな意見だから。一方で、大規模になじめない生徒も少なからずいるだろうから、それには相応の対応ができると考えます。

No.										
	3. 国の標準を下回る学級数の学校について、ご意見を教えてください。 なお、統合（統合先の学校名）や存続（存続の場合は充実策）、また、その理由									
	(1) 穂坂小学校					(2) 葦崎北西小学校				
	統合	統合先	存続	理由	その他のご意見等	統合	統合先	存続	理由	その他のご意見等
4	○	北東小		<u>葦崎北東小学校との統合</u> 穂坂小学校存続した場合、将来これ以上の児童数減少は避けられません。 よって、 <u>十分な教育環境が維持できなくなると考えます。</u> 北東小学校への統合と記したのは ①宮久保地区以西の地区 葦崎小学校より北東小学校が近距離 ②三ツ沢地区を中心とした地区 葦崎小学校と 北東小学校が等距離 ③上今井・原地区等 葦崎小学校より北東小学校が遠距離 ではありますが、 <u>穂坂地区全体を一つの行政単位と認識した場合、穂坂町の一体感を考えますと、通学する小学校は現在児童数が多い地区を考慮し、北東小学校にまとめることが良いと考えます。</u> 【 <u>現在も日之城地区・上野原地区は穂坂町内でありながら、北東小学校に通学しておりますが、穂坂地区が穂坂小学校と藤井小学校に分かれた以降の方々が、現在地区の執行者が多くなり、穂坂地区全体の中で、多少の違和感があります。</u> 】 また、 <u>統合先を分けるとマイクロバス（仮定）等の経費の増加につながります。</u>	－	○	葦小		<u>葦崎小学校との統合</u> ・距離が近いことと、現在も祖母石地区は、 <u>葦崎地区でありながら北西小学校に通学している。</u> ・大型の甘利小学校への統合よりも、 <u>規模が小さくなってきている葦崎小学校への統合が良いではないか</u> と考えます。	－
5	○	葦小 北東小		数年後には一人学級が予想されるので、他学校と <u>統合することが望ましい</u> と思われる。ただ、穂坂小学区が広いため、 <u>ひとつの学校と統合ではなく、葦崎小学校・葦崎北東小学校の2校に統合（吸収）</u> されてはどうか。	当然スクールバスでの登下校になるが、北東小の場合、現スクールバス利用+穂坂スクールバス利用になるので、 <u>登校時刻が異常に早くなったり、下校が暗くなったりすることを避ける利用を考えたい。</u>			○	現在、小規模校であるが故の学校経営がなされ、成果を上げていると思われる。今後も児童数減の状況が続いていくようだが、 <u>他学校とのさらなる交流を深める中で、存続</u> していけるのではないだろうか。（姉妹校関係を結ぶ・ITC活用による交流学习や合同授業・様々な交流計画等。）	－
6			○	<u>できる限り存続</u> の方向（入学生が0人にならない限り） ・地域とのつながりを活かした体験活動 ・異年令集団での合同授業（スポーツ実技、合奏、合唱） ・ICTの活用による他校との合同授業 ・他校との交流活動	やむを得ず統合をすすめる場合は <u>北東小学校へ</u>			○	<u>できる限り存続</u> の方向 (1)と同じ	やむを得ず統合をすすめる場合は、居住地により葦小や北東小への通学を希望制にする。
7	○	葦小 or 北東小		<u>統合が望ましい、葦崎小学校。北東小が地理的には良いかも知れないが、葦小の児童数が少ないので。</u>	－	○	甘利小		<u>甘利小学校と統合</u> 。葦小、北東小学校より地理の上で。橋を渡らないで済む。	－
8	○	葦小 北東小		<u>北東小と葦崎小への統合</u> 。地区ごと近い方に統合した方がよいと考えます。理由は、複式学級には反対だから。複式学級ぐらいになると、集団の中での切磋琢磨することができず義務教育の意味をなさないと考えるから。	－			○	<u>存続（学区再編）</u> 、甘利小学区から北西小学区へ移動	－

No.		
		4. その他のご意見等
	(3) 左記 (1) (2) 以外の小中学校	
	ご意見等	
4	中学校も生徒数が減少してきており、中学校での望ましい教育環境を確保するためにも、両校ともまだ校舎が新しい（古くない）ので、近年中は難しいが、次の校舎建て替え期には統合するべきだと思います。	－
5	－	－
6	引き続き、質の高い教育を目指し、教師自身の力量を高めるよう研鑽を積んでほしい。	地域から学校がなくなることにより、学校、家庭・地域の連携が弱まり、ますます過疎化が進むことが懸念される。望ましい教育環境を整えたり、手厚い教職員の配置をしたりするための財源を確保してほしい。
7	－	現状を変えるのはとても大変なことと思います。 廃校になる施設は地域の核となる場所として何らかの利用を考えてほしい。 大変なご苦勞になると思いますが、未来の韮崎のため宜しくお願い致します。
8	－	－

意見一覧（順不同）					
No.	意見集約項目				
	1. 国や県が示す適正規模等の方針を踏まえて、あなたは、学校の適正規模等に対して、どのようなお考えをお持ちか教えてください。	2. アンケート結果などを踏まえて、韮崎市における望ましい適正規模（特別支援学級を除く）について、ご意見を教えてください。			
		(1) 小学校：各学年 学級以上を基本とすることが望ましいという		(2) 中学校：各学年 学級以上を基本とすることが望ましいという	
		学級数	理由・ご意見等	学級数	理由・ご意見等
9	どうしても児童数が減っている中で、小人数の学校の存続はとても難しいと思います。でも、この前のアンケートを見ると子どもからも大人からもたくさんのメリットが出ていたので、市の協力があるならば残してほしいなと思います。スクールバスに関しては、距離だけではなく大変さも考慮して頂きたいです。	2	個人的には2学級以上あるのが良いと思います。クラス替えのワクワクさに対抗戦など楽しみも増えるし、問題があった時に、分かれている方が対処しやすいかな...と思うからです。 でも上にも書いた通り、小人数のメリットもあると思うので、その学校ごとに考えていきたいです。	3	3学級以上ある方が、中学になるとイベント事も増えるので、楽しめる機会が増えると思います。
10	適性規模・適正配置等に関する基本的な考えには賛成です。集団の中で培われる多様な考え、認め合い、協力し合う、切磋琢磨し合うことは、集団の中でこそ育つと考えます。集団にも小から大とあるが、発達段階により、より大きな集団での育ちができる児童生徒数が適正と考えます。また、教職員定数のデータも示されていましたが検討会では議題になっていなかったと思います。教職員の立場から考えた意見も参考としていただきたい。 県の25人学級では「学習や生活面でのきめ細やかな指導を可能にし、つまづきを早期に発見して学習の素地を形成すること、また教員の負担軽減を図り、児童一人ひとりに丁寧な指導ができる環境を整えること」とあります。教職員数も考慮していく必要を強く感じています。 現在の教育不足の対応のため今後も新採用者には経験の少ない若手が増えていくものと考えます。そうした若手の育成には時間や経験が必要です。学校の大小関係なく若手教員の育成は喫緊の課題です。教職員にはさまざまな年齢層の職員がいて学校運営できる環境が現実的な問題として感じています。そのためにも適正配置と考えるのは1学年内に複数学級が存在する学校規模であり、教職員配置だと考えます。	—	—	3	中学校では、9教科の担当を配置できる規模が望ましいと思います。 中学で各教科の教職員を確保する場合、音美技家を1名ずつ、あと6教科のうち国英は学年1人、社数理は2人ずつとして通常学級が11クラスで教頭も含めた教職員は18人です。算定基準を示すことができて適正な規模や配置は、教職員集団のさまざまな経験やキャリアの職員配置がもっとも重要です。
11	・韮崎市が示す学校教育の基本方針（重点施策）にもあるように、友だちとの多様な考えの交流、協力し合う場面、競い合う場面など多様性の中で学ぶ機会を重視していくことは大切であると考え。 国や県が示す適正規模等の方針を参考に、韮崎市として地域の特性を考慮した適正規模についての納得できる方針が出せるようにしていきたい。 ・小規模校では教職員の数が少ないので、一人が複数の分掌を受け持ち、出張や研修への対応も多くなる。各校で働き方改革を進めてはいるが、学校行事への準備対応や会場での必修研修や出張はまだ多いので、教諭等配当数が多いことで負担が減る。	2	・保護者アンケートから「先生の目が行き届く」ことへの願いが感じられる。1クラスの人数が少ない方が、教職員のきめ細かな指導や支援が当然できるのだが、県の25人少人数学級の施策が6年生まで進めば、1クラスの人数も学習や運動、行事活動に適した人数になる。児童からのアンケートでも、友だち関係もつくりやすいこと、先生とも話せるという意見があり、複数学級で20人前後が適切であると考え。 ・小規模校も異学年の縦割りを有効に使い、適切な人数での学習や活動を行っていることで学習効果も上がっている。ただ複数学級があると、同学年でのクラス替えや多様な取組ができると考える。 ・各学年3学級となると複数小学校の統合となり、通学距離が長く現実的な通学時間や学校対応ができなくなると考える。	3	・複数クラスでの多様な学びや活動ができる。 ・一定数の生徒がいることで、部活動の選択肢が増える。 ・各教科の配置ができる規模が望ましいと考える。
12	小1～4 1～35 1学級 →2学級 教職員確保が前提により 小6 106～140 4学級 →5学級 教職員確保が前提により →が適当と考えます。 国より県の学級数、児童数適当と考えます。又、穂坂小の市独自の教職員追加配置適当と考えます。	2 ※	私自身としては、学級数は、県、市の示しているに加え1.が適当と考えます。理由としては、アンケート結果の児童保護者の回答率100%として捉えなければならないので無理が生じ、また、それぞれの事情があると思うからです。また、アンケート結果を基に何を選択するかは、市、学校側で得意性があるって決めることも良いと考えます。		私自身としては、学級数は、県、市の示しているに加え1.が適当と考えます。理由としては、アンケート結果の児童保護者の回答率100%として捉えなければならないので無理が生じ、また、それぞれの事情があると思うからです。また、アンケート結果を基に何を選択するかは、市、学校側で得意性があるって決めることも良いと考えます。

No.											
	3. 国の標準を下回る学級数の学校について、ご意見を教えてください。 なお、統合（統合先の学校名）や存続（存続の場合は充実策）、また、その理由										
	(1) 穂坂小学校					(2) 葦崎北西小学校					
	統合	統合先	存続	理由	その他のご意見等	統合	統合先	存続	理由	その他のご意見等	
9			○	複式学級がないという前提では、存続で良いと思います。穂坂小ならではのメリットを伸ばして行ってほしいです。	運動会などとは別に、学校対抗（複数で2チーム位）で何かイベントを行ったり、合同で合唱大会など出来たら楽しいかなと思います。			○	複式学級がないという前提では、存続で良いと思います。北西小ならではのメリットを伸ばして行ってほしいです。	運動会などとは別に、学校対抗（複数で2チーム位）で何かイベントを行ったり、合同で合唱大会など出来たら楽しいかなと思います。	
10	○	－		地域や住民と関係があった文化や行事のよさや伝統を継承していくことができる統合であってほしいと思います。	－	○	－		地域や住民と関係があった文化や行事のよさや伝統を継承していくことができる統合であってほしいと思います。	－	
11	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
12	－	－	－	統合先は、児童、児童保護者、地域の声の聞き取り調査（ワークショップ取り入れる）を重要視してから近くの北東小学校を検討したらどうでしょうか。既にワークショップが行われたならばそれを利用 存続の場合は、地域の方々が色々な行事に理解しているのであれば児童、生徒の大多数にとっては、地域性が育まれ将来的には、好ましいと思います。	一時的試みとしてお試し授業として大規模校への児童交流を行い、徐々に他校の児童の善さを知り、いずれか統合を視野に入れことも考えます。 他校のスクールバスを利用については、空いている時間の利用を検討することも考えられます。 その場合、一日フルに交流するのではなく限られた時間帯を考えたのでしょうか。（安全性を確保しながら）	－	－	－	将来的には、穂坂小学校のケースの（1）に準じ、統合先は、近くの甘利小学校や葦崎小学校を検討することも考えます。	－	

No.		
		4. その他のご意見等
	(3) 左記 (1) (2) 以外の小中学校	
	ご意見等	
9	個人個人、子ども、保護者それぞれの意見が違うと思うので難しいとは思いますが、今ある学校でそれぞれの特色を見つけ、各学校よりよい学校にしていくのが1番かなと思います。	－
10	－	－
11	【小規模校としての良さや充実に向けて】 ・小規模ゆえに子供たちの動向に目が行き届きやすく、学習状況や理解度、特性を正確に把握でき、きめ細やかな対応ができる。また、全員が顔見知りで助け合う温かい人間関係など、大規模校にないよさがある。 ・少人数の学級で学びたいという子供や保護者が増えてきている。そのニーズに応えるためには、小規模校もあつた方がよい。 ・全校での活動が仕組みやすく、縦割り班活動が活発になり、リーダーシップやフォローシップが育まれる。その中で、一人一人がリーダーとなり、中心となって活躍する機会が増え、責任感ある姿勢を育むことができる。 ・地域や保護者とのつながりが深く、地域の行事や伝統文化の継承において、子どもたちが地域の担い手として成長していく貴重な場となっており、地域の人材や資源を活用した特色ある教育活動ができる。地域の人材を積極的に活用しながら、地域の力を教育力へつなぎ、地域とともにある学校として、子どもたちの成長を支える拠点となっている。	・特に小学校は各地域に学校に関わる歴史やつながり、多くの考えがあるので、統合となれば市教委と地域でしっかりと話し合い、理解と納得を得た中で統合や継続を進めていただきたい。
12	<u>将来的には、人数減の学年から交流し、徐々に慣れ、児童生徒の様子を見ると共に地域の動向について再度、検討を行うことも考えます。やむを得ない時は、統合もあり得るかと思います。</u> また、人口減少もありますが学級数だけにとらわれず1学級に2人の教職員が対応することも検討として考えます。（見守り、ゆとりある教育を目指す観点からも必要ではないでしょうか。）	<u>将来的には、人口減少もありますが衰退でなく魅力ある学校づくりとして児童生徒の安全・安心を確保しつつスポーツだけでなく、空いている教室は、定期的に開放する。机は低い場合は、椅子は、各自で床を汚くしない状態のキャンプ用椅子などや上履用意など持参する。又、清掃して帰る事もルールに入れる。その他、必要事項を守り活用するなど考えます。</u> その他として学校は、児童・生徒、教職員が中心と考えていますが地域の方の利用方法としては災害拠点の活用、会議の活用、交流の場等、安全を確保出来ればルール作りや様々な充実した学校づくりへ進行することがあっても良いかと考えます。（良い一例として、既に出前授業されている。）

意見一覧（順不同）					
No. 意見集約項目					
1. 国や県が示す適正規模等の方針を踏まえて、あなたは、学校の適正規模等に対して、どのようなお考えをお持ちか教えてください。		2. アンケート結果などを踏まえて、韮崎市における望ましい適正規模（特別支援学級を除く）について、ご意見を教えてください。			
		(1) 小学校：各学年 学級以上を基本とすることが望ましいという		(2) 中学校：各学年 学級以上を基本とすることが望ましいという	
		学級数	理由・ご意見等	学級数	理由・ご意見等
13	国の基準に比べ 山梨県ではさらに少人数教育を推進、 韮崎市ではさらに複式学級に加配など 適正規模に対するきめ細やかな取り組みがされていることを知り 韮崎市は手厚い配置をされていると感じました。個人的には ①（クラス人数）これ以下（ひとけた）の少人数教育（クラス）は、避けた方がよい ②（学年組数）1学年に 複数学級あった方がよい ③（教員配置）先生のご負担を減らす複数担任制の導入（ケースバイケース）と先生のカンファレンスの充実という考えです。（公立の場合のみ・私学は自由なアイデアで）	2	各学年2学級以上（できれば3学級以上） きょうだいもそうですが、3人以上いると 比較対象があいまいになり潤滑な関係ができるように 3学級あれば、いろいろな体験や感情、良い意味での競い合いや曖昧さも生まれると思います。 現場の先生は大変なご苦労かと思いますが トラブルや課題や不統一感も必要と思い、価値観の違う他者と「せめぎ合い」最後に「折り合っていく」力をつけてほしいと思います。ポジティブなこともネガティブなことも、経験を積んで、たくましく成長していったほしいと願います。	2	各学年2学級以上（できれば3学級以上） きょうだいもそうですが、3人以上いると 比較対象があいまいになり潤滑な関係ができるように 3学級あれば、いろいろな体験や感情、良い意味での競い合いや曖昧さも生まれると思います。 現場の先生は大変なご苦労かと思いますが トラブルや課題や不統一感も必要と思い、価値観の違う他者と「せめぎ合い」最後に「折り合っていく」力をつけてほしいと思います。ポジティブなこともネガティブなことも、経験を積んで、たくましく成長していったほしいと願います。
14	国、県による適正規模等の考え方を読んで感じた点は、玉虫色になっており、何んの方向性を示していない様な気がする。 私は、子供達の教育は、ある程度の規模を確保してやり、充実した環境の中で競争する力・心や多くの人の意見を聴く、また、多くの人と交流する力を養う事が必要であると考えている。	2	1で述べて意見に基づきます。小学校も中学校も複数の学級により、子供達は成長し、将来得るものも多いと思う。 私は団塊世代、生徒数が多い中で学び、小学校中学校高等学校、大学と多くの友人が出来、その友人達とは、今でも親しくいろいろな会を持ち、楽しい人生を送っています。	3	1で述べて意見に基づきます。小学校も中学校も複数の学級により、子供達は成長し、将来得るものも多いと思う。 私は団塊世代、生徒数が多い中で学び、小学校中学校高等学校、大学と多くの友人が出来、その友人達とは、今でも親しくいろいろな会を持ち、楽しい人生を送っています。

No.										
	3. 国の標準を下回る学級数の学校について、ご意見を教えてください。 なお、統合（統合先の学校名）や存続（存続の場合は充実策）、また、その理由									
	(1) 穂坂小学校					(2) 葦崎北西小学校				
	統合	統合先	存続	理由	その他のご意見等	統合	統合先	存続	理由	その他のご意見等
13	○	葦小 北東小		葦崎小学校・北東小学校へ 統合 先日のアンケートを拝見すると、子どもたちはどんな場所でも咲くことができるたくましさを持っているんだな と 感心しました。たくましくポジティブな子に育てて頂いている先生方のご尽力のおかげと感謝いたします。 反対に、親たちのネガティブな回答をみますと、私の現場の子育て支援や産前産後の家庭サポートの在り方を問われている気がします。生まれる前から、地域に頼れる人を作ること、夫婦で親になること、地域を信頼できること・・・など、しっかりと地域の子どもの成長（親も！）を見守る 助け合い・支えあいや悩みを気軽に相談できる仕組みづくり・人づくりが 教育現場の一助になると感じております。	（廃校による課題） 穂坂小学校など 廃校になると地域の良さや強みがなくなる心配もありますが、「シビックプライドを醸成する新しいカタチ」を作り出すチャンスととらえ、「不易流行」・・・変わらぬものと変わっていくものを見極めるタイミングではないかと思います。 （例）甘利小の「綾棒踊り」は 旭・大草・龍岡小学校の時代、全学校でやっていたとは思えないのですがどこの地区が発祥の地でしょうか？どこかの地区地域の方や先生方が大事に継承していこうという強い思いがあったから今でも大切に続けられているのだと思います。卒業生も当時はよくわからなかったかもしれませんが 大人になってよい思い出になっているようです。 穂坂・北西両校が新しい学校に併合されて少数派になられても、大切なものは受け継がれていくよう地域を愛する長老様たちの腕の見せ所かと思います。 （交通手段や防災活動による課題） スクールバスは当たり前の時代になってきていると思いますので、財源の確保が課題になるかと存じます。防災の新たなシステムの構築（DX化・発災前の教育・自助・共助）も必要かと思います。	○	北東小 甘利小		甘利小学校・北東小学校へ 統合 先日のアンケートを拝見すると、子どもたちはどんな場所でも咲くことができるたくましさを持っているんだなと感心しました。たくましくポジティブな子に育てて頂いている先生方のご尽力のおかげと感謝いたします。 反対に、親たちのネガティブな回答をみますと、私の現場の子育て支援や産前産後の家庭サポートの在り方を問われている気がします。生まれる前から、地域に頼れる人を作ること、夫婦で親になること、地域を信頼できること・・・など、しっかりと地域の子どもの成長（親も！）を見守る 助け合い・支えあいや悩みを気軽に相談できる仕組みづくり・人づくりが 教育現場の一助になると感じております。	（廃校による課題） 穂坂小学校など 廃校になると地域の良さや強みがなくなる心配もありますが、「シビックプライドを醸成する新しいカタチ」を作り出すチャンスととらえ、「不易流行」・・・変わらぬものと変わっていくものを見極めるタイミングではないかと思います。 （例）甘利小の「綾棒踊り」は 旭・大草・龍岡小学校の時代、全学校でやっていたとは思えないのですがどこの地区が発祥の地でしょうか？どこかの地区地域の方や先生方が大事に継承していこうという強い思いがあったから今でも大切に続けられているのだと思います。卒業生も当時はよくわからなかったかもしれませんが 大人になってよい思い出になっているようです。 穂坂・北西両校が新しい学校に併合されて少数派になられても、大切なものは受け継がれていくよう地域を愛する長老様たちの腕の見せ所かと思います。 （交通手段や防災活動による課題） スクールバスは当たり前の時代になってきていると思いますので、財源の確保が課題になるかと存じます。防災の新たなシステムの構築（DX化・発災前の教育・自助・共助）も必要かと思います。
14	○	－		3の(1)(2)(3)をまとめて述べます。 児童数の推移を見ても、市内全小学校の規模の見直しは、今進めなければならないとう。 昭私47年に小学校統合問題懇談会に小学校の統合計画が諮問されてから、第一次統合 北西小学校（昭和53年4月開校）北東小学校（平成2年開校）これをみても大変な時間と多くの人達の関りがあります。 一つ不思議に思うのは、何でその時穂坂小学校は統合の中からはずしたのか（説明を求めたい） 私は委員として市内全小学校の体力測定と全6年生が参加する陸上競技会に関わっているが、子供達には、（他の人より上手になりたい！もっと強く早くなりたい！）そんな気持ちを応援したい。 また、校舎等ハード面においても充実した環境を整える必要がある。一例をあげればプール問題である。	－	○	－		3の(1)(2)(3)をまとめて述べます。 児童数の推移を見ても、市内全小学校の規模の見直しは、今進めなければならないとう。 昭私47年に小学校統合問題懇談会に小学校の統合計画が諮問されてから、第一次統合 北西小学校（昭和53年4月開校）北東小学校（平成2年開校）これをみても大変な時間と多くの人達の関りがあります。 一つ不思議に思うのは、何でその時穂坂小学校は統合の中からはずしたのか（説明を求めたい） 私は委員として市内全小学校の体力測定と全6年生が参加する陸上競技会に関わっているが、子供達には、（他の人より上手になりたい！もっと強く早くなりたい！）そんな気持ちを応援したい。 また、校舎等ハード面においても充実した環境を整える必要がある。一例をあげればプール問題である。	－

No.		
		4. その他のご意見等
	(3) 左記 (1) (2) 以外の小中学校	
	ご意見等	
13	—	教員配置の考え方 教育（教える）指導と生活の指導の両方を受け持たれる先生方のご苦勞を考えると、特に低学年など複数担任が望ましいと思います（例：私の京都市に住む姪の話ですが、京都市の教員養成大学生が、年間でインターンで（バイト？）で受け入れ、クラスの先生のサポートをするそうです。学生のメリットとしては 教員養成試験にアドバンテージをもらえるそうです。行政のマンパワー問題の解消とコスト縮減にもなっているかもしれません） （教育長・教育課長・秋山様・若尾様） 委員をさせて頂き 国・県・市の考え方・学校の現状・子どもや保護者の気持ちなどについてよく知ることができ感謝申し上げます。今後地域の一員として協力できることをさせていただければ幸いです。引き続きご教授ください。
14	3の(1)(2)(3)をまとめて述べます。 児童数の推移を見ても、 市内全小学校の規模の見直しは、今進めなければならない とう。 昭私47年に小学校統合問題懇談会に小学校の統合計画が諮問されてから、第一次統合 北西小学校（昭和53年4月開校）北東小学校（平成2年開校）これを見ても大変な時間と多くの人達の関りがあります。 一つ不思議に思うのは、何でその時穂坂小学校は統合の中からはずしたのか（説明を求めたい） 私は委員として市内全小学校の体力測定と全6年生が参加する陸上競技会に関わっているが、子供達には、（他の人より上手になりたい！もっと強く早くなりたい！）そんな気持ちを応援したい。 また、校舎等ハード面においても充実した環境を整える必要がある。一例をあげればプール問題である。	—